



とみすはら

平成 27 年 3 月 1 日 発行：富洲原地区社会福祉協議会 編集：文化広報部



会長あいさつ

富洲原地区社会福祉協議 会長 伊藤健一郎

平素は富洲原地区社会福祉協議会発展のために地区の皆様にはご理解ご協力を賜り、この場をお借りしまして心よりお礼を申し上げます。

自治会、社協、防災、人権等で行っている多様な事業にこれからも地域の方が一人でも多く積極的に参加され住民同士の絆をより深められるようお願い申し上げます。

私たちも安全安心住みよい富洲原のまちづくりに協力してまいりたいと思います。

◆避難行動とは◆

「避難行動」とは、数分・数時間後に起こるかもしれない自然災害から「身を守るための行動」を意味します。

そのため、**自分の住んでいる場所の危険度（河川決壊による浸水災害、土砂災害）**によって避難行動は変わります。浸水箇所や土砂災害の危険箇所を水害ハザードマップでご確認いただき、避難所へ避難やご自宅の2階に避難するなど、状況に応じた、自分にあった避難行動を取ってください。



避難所への移動



安全な場所への移動
(親戚や友人の家など)



近隣の高い
建物などへの移動



建物内の安全な場所
での待避（2階など）

大型台風・豪雨等自然災害から 身を守ろう!

平成26年8月9日に台風11号が、高知県に上陸、四国・近畿を縦断し各所に甚大な被害を残しました。三重県にも「大雨特別警報」が気象庁から発令され、四日市市は全世帯に《避難指示》を出しました。地区市民センターや各町自治会役員へたくさんの市民から「何処へ避難するの?」「避難所に何を持参するの?」「避難所は開設されているの?」等問い合わせの電話が殺到しました。

12月4日に連合自治会会長、連合自主防災隊隊長、老人会会長等の皆さんと富洲原地区の市議会議員（小川政人さん・早川新平さん）に参加頂き、四日市市危機管理室の担当者から《災害時の対応について》説明を聞き、意見交換を行いました。

《市議会議員から》



市全域への避難指示について

小川 政人 議員



早川 新平 議員

- ・四日市全域を対象に避難指示を出すのは、市民を混乱させる。もっと細分化して出す。（台風、大雨、巨大地震、津波等で被害地区が変わる）
- ・朝明川堤防の決壊危険箇所は掌握されているはず。
- ・市が責任逃れのため避難指示を出すのは問題が多く混乱する。
- ・台風の進路等情報を把握して、市がどこの地区が危険なのか熟慮し出すべき。
- ・巨大地震⇒液状化に備える。防潮堤の高さが5.4mある。家具の固定や冬や夜間に災害が起き、停電でも車中で暖が取れるようガソリンを満タンにしておく。隣近所の助け合いが大切、日頃から心がけよう。

◆台風避難対象100万人規模に◆

最近の豪雨災害

	避難勧告	避難指示	死者・ 行方不明		
2014年	10月13~14日 台風19号	181万人	109人	3人	鹿児島、高知、大阪の各府県に次々と上陸。日本列島を縦断した。
	10月5~6日 台風18号	375万人	6万人	7人	浜松市に上陸し、首都圏を直撃。東京都の港区でも避難勧告。
	8月20日 広島での土砂災害	16万人	4627人	74人	広島市の安佐南区、安佐北区で大規模な土砂崩れ。避難勧告の発表が遅れ。
	8月15~24日 大雨	25万人	6487人	8人	岐阜県高山市、京都府福知山市、北海道礼文町などで記録的豪雨。
	8月9~10日 台風11号	118万人	5万人	1人	三重県に大雨特別警報を発表。高知県に上陸して、四国、近畿を縦断した。
2013年	7月6~10日 台風8号	118万人	4172人	3人	長野県南木曾町で土石流により1人死亡。
	10月16~17日 台風26号	9万人	4万人	43人	東京・伊豆大島で大規模な土石流により36人死亡、3人が行方不明。

※1万人以上は千の位を四捨五入。避難指示・勧告は消防庁の全国集計

保育園・幼稚園

さる4月と9月に“地震の後に津波がくる”という想定で保・幼・小 合同の避難訓練がありました。

保育園児・幼稚園児たちは、一人も泣いたり、はぐれたりする事なく大勢の中で大人の話聞いて、小学生のお兄さん、お姉さんたちと避難する訓練が出来ました。保育園児・幼稚園児の年長さんたちは、



一学期から度々遊びを共にし、地域の夏祭りに合同で参加したり、中学校へ一緒に徒歩で出掛け、体育祭の見学と踊りに参加したり、敬老会では一緒に練習をした歌と踊りを披露するなど交流を深めてきました。

また、小学校へ出向きプールを利用したり、給食の体験や授業の見学、合唱会への参加などの経験もしました。

入学前に新しい仲間と顔見知りになるという事や、小学校での様々な体験は、4月からの小学校生活に期待をふくらませていく事となるでしょう。



10月19日(日)に松原グラウンドにおいて松原子ども会親子大運動会がありました。約150人の子どもと保護者が参加しました。



午前には綱引き、障害物、パクン競走、町別対抗リレー予選などの9種目、午後には旗取り、玉入れ、借り物競走、町別対抗リレー決勝など9種目がありました。

町別対抗リレー予選では、子どもの人数が減る中、

11チームがそろい盛り上がりました。

この運動会も途切れることなく51回を迎えることができました。当日は皆の心がけで天気にも恵まれ、大きな怪我もなく無事終わることができました。これからもこの運動会を続けていけることを願っています。



松原地区

天力須賀地区

天力須賀地区育成会は各町毎に、ボウリング大会やバス旅行、映画鑑賞会等、地域の子どものために活動しています。

その中でも地区全体の行事として、毎年、ドッジボール大会を行っています。今年度も6月22日(日)に富洲原中学校体育館をお借りして行いました。

各町毎または町合同でチームを作り、試合を行います。この大会で優勝したチームが「C T Yカップ四日市市青少年球技大会」に出場します。

大会に向けて、5月下旬から大会までの土、日曜日には、天力須賀児童公園で練習も行います。

大会、練習ともに地域の皆様にもお手伝い頂いて無事に終了することができました。



11月9日(日)「アソビックスあさひ」で、富田一色育成会主催のボウリング大会がありました。

年に一度の富田一色地区の小学生が集まるイベントです。

普段は習い事でなかなか近所の子どもと遊べない子や他学年との交流も少ない今、わきあいあいと楽しむ様子を見てとても嬉しく思いました。

「来年は1位になるぞ!」とすでに来年のボウリング大会も楽しみにしている子どもたちの声を聞くと、これからも続いていけばなと思います。



富田一色地区